
我家のお嬢様

りーぜ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

我が家のお嬢様

【Nコード】

N47820

【作者名】

りーぜ

【あらすじ】

大学生である桐谷圭一は、あるアルバイトをしていた。

それは桐谷家とは古い付き合いであり大地主である西園寺家の双子のお嬢様、姉の葵と妹の雫の執事として働いていた。2人のお嬢様とは幼馴染でもあったためとても楽しくすごしていたのだが…。突然の西園寺家の没落と同時に葵と雫の両親が行方不明になったことにより事態が一変。1人暮らしのアパートに葵と雫が同居することになってしまった！いきなり2人のお嬢様と暮らすことになった圭一の運命は！？

プロローグ

6月上旬の朝、今年で19歳になった俺こと桐谷圭一はカーテンから漏れ出した太陽の光と大音量の目覚ましのアラームのダブルコンボにより目が覚めた。

仕方なく重い足取りで俺の部屋兼、物置部屋から徒歩5歩という位置にある風呂と洗面所のあるドアの前に立ち何気なくドアを開けた。もちろん顔を洗い、歯磨きをするために入ろうとしたわけだが…。

ここでいきなりだが言い訳をしたい。3年間独り暮らしをしてきて且つ、朝無理やり起こされた感じで頭が回転しきってない俺の意識と経験上このドアを開けても安全だと思ったのだ。

つまり、もしこのドアを開け目の前にパジャマを脱ぎかけている美少女がいたとしてもそれは事故であると主張したい。

「え・・・？」

「あ・・・」

「・・・・・・」

「お、おはよう・・・」

「きゃああああああああああっ！！！！」

決して広いとはいえない1LDKのアパート部屋中に美少女の悲鳴がひびいた。

何事かと駆け付けた大家さんに警察沙汰だけは勘弁と何とか言いわけをし早々に帰ってもらった。やれやれ・・・。

「葵、ホントにすまん。この通りだ…だから機嫌直してくれないか

「？」

「ふんっ：／／／」

ぷいっと赤面し顔をそむけながらご飯を食べている美少女は西園寺葵、16歳、高校1年生である。きれいな栗色の長い髪をお気に入りのリボンでポニーテールにしている。

「…お姉ちゃんもいい加減慣れたほうがいい…」

と物静かに俺をフォローしてくれてるのは同じく美少女である西園寺雫、葵の事を「お姉ちゃん」と言っているが葵と同じ16歳、高校1年生である。これまたきれいな長い黒い髪をしているが束ねずにそのままのロングである。

「ちょっとー！雫まさかお兄ちゃんの味方！？」

「…鍵をかけなかったお姉ちゃんにも非はあると思う…」

「うぐっ…。だって前の家では…」

「…前の家は前の家…今の家は今の家…」

「うう…」

妹の前に撃沈し、だれる葵。流石に可愛いそうと思うがこの事件の発端である俺が励ましてもどんどん不機嫌になっていくのは明確である。すまん…。

「…お姉ちゃん…そんなだれてると遅刻するよ…」

「だれのせいよ！だれの！」

「あーここまでだ。ホントに遅刻しちまうぞ。葵、ホント悪かった、何かお礼に言いつけていいぞ。」

「ふんっ。当り前でしょ私達姉妹を誰だと思ってるの？」

あゝそういえばそうだったな。こりゃ1本取られたかな？などとのんきに考えてるとすでに2人の姉妹は玄関に立っていた。

「命令よ。帰りにハーゲンダッツを買ってきなさい」

「…私は…ガリガリ君でいい…」

と意気揚々と学校に出かけた。そして俺は一言。

「かしこまりました。お嬢様」

そう、あの2人はお嬢様なのである。お嬢様はお嬢様、それ以上でもそれ以下でもない、正真正銘のお嬢様である。そんなお嬢様がなんでこんなアパートでいっしょに暮らしてるかと…まあ話せば長くなるんだよこれが…。

プロローグ（後書き）

初掲載& a m p;連載です。よくあるシチュエーションかと思われるますが、まったりいきたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4782o/>

我が家のお嬢様

2010年10月24日01時42分発行